

故郷の鼓動 光る汗 集まる人の輪！

根崎神社例大祭、相沼八幡神社例大祭

お盆シーズン、熊石地域では根崎神社例大祭（8月13日～15日）、相沼八幡神社大祭（14日～15日）が行われ、町内には京都祇園祭の流れをくむ祭り囃子が響き渡りました。根崎神社例大祭では、25年ぶりに寄附により、熊石雲石町「八雲山」の「素戔鳴尊人形」の衣装が新調され披露されたほか、山車8基が各町内会を巡行し、最終日の宮入りには当番町の鳴神町内会による踊りの奉納が行われ、沿道の町民やふるさとに帰省した人達は行列に歓声をあげました。また、相沼八幡神社例大祭は6年ぶりの大祭が行われ、町無形民俗文化財の「相沼奴」が神輿先供（さきども）として行列につき、5基の山車が地域を巡行しました。相沼奴は「相沼小学校・熊石第二中学校」の地域総合学習の時間に地域の伝統文化として児童生徒たちに継承されています。町と域学連携を結んでいる札幌大谷大学の学生や、インターネットで祭りの参加者を募集する「まつりーと」からの応募者など町内外からの観光客は、ニシン場として栄えた熊石地域の歴史ある祭りを楽しみました。



旧黒岩小学校 2年ぶりに明かりが灯る！

社会福祉法人麦の子会 利用開始

平成26年3月に閉校になった旧黒岩小学校が平成28年7月より社会福祉法人麦の子会の活動施設となりました。麦の子会は、札幌の児童発達支援センターで、児童発達支援、放課後等デイサービス等各種福祉事業を実施しています。旧黒岩小学校は、道南での活動拠点として利用される予定で、8月6日～14日の間、麦の子会のスタッフ、利用者、保護者など約130名ほどが学習、レクリエーション、トレッキングなどを行いました。同会の施設副センター長の理事古家さんは「（旧黒岩小は）備品や遊具などがきれいに残っていて快適に過ごさせてもらっている。ここを拠点に道南でのさまざまな活動に繋がりたい」と語りました。



納涼！飲んで食べて歌って！

第9回 落部盆踊り大会

里帰りをする人が増えるお盆の8月14日、落部連合町内会が主催となり9回目となる落部盆踊り大会が落部レクリエーションセンター前で開催されました。参加者は、浴衣や甚平など夏らしいでたちや仮装など思い思いの服装で踊り、子どもは涼しげな流しそうめんや縁日・花火、大人は屋台やビアガーデン、カラオケ大会などを楽しみました。

